

議会報告会実施報告書

開催日時	平成26年11月18日(火) 18時00分～20時10分		
開催場所	総合保健福祉センターゆとろ 多目的ホール	出席者	18名
担当議員	B班	高谷議長・後藤副議長・神林議員・市川議員・稲村議員・柏樹議員 岡野議員・石川議員・古谷議員 (事務局3名)	
<p>◎議会報告に関する事項 (議会報告会別冊資料による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各定例会等の報告(平成26年5月臨時会・6月定例会・9月定例会) ・議会改革の取組み報告 <p>(質疑応答)</p> <p>町内会：議会中継については、どのような形で実施していく考えなのか。</p> <p>議 会：現在、議場内の放送施設の機材の更新と共に、議会中継を検討しているところであり、インターネットを使って配信していくシステムにしようとの考えである。</p> <p>町内会：現在の当別町の議会の公開の状況が、手持ちの資料であるが全道のランキングで111位であり、かなり遅れていると思っている。</p> <p>議 会：今後、リアルタイムで議会中継をしようとして検討しているところである。後程、その資料については参考までにいただきたい。</p> <p>◎懇談に関する事項 (各町内会提出の各懇談テーマによる)</p> <p>(質疑応答)</p> <p>町内会：北電電気料金値上げについて、どのような協議をしているのか。町指定の街灯と町内会街灯の設置基準はあるのか。また、町内会から町の管理に変更する事は出来るのか。街灯電気代の計算の根拠は何か教えてほしい。特に電柱にメーター等の設置はしていない。</p> <p>議 会：電気料の再値上げに伴って、12月議会で電気料増に伴う補正予算が組まれる事など、これから議会としても協議していく事になると思う。街路灯の設置基準は特に無いが、町の補助としては、電気料金の40%以内補助と、新設改良に関する補助については、工事費の50%補助が行われている。町内会の街灯は地域の実情に応じて、町内会において設置しているものであり、維持管理等は町内会にて行うものとする。電気料の請求は北電との契約であるので、電灯の個数によって北電から請求があるものと思う。</p> <p>町内会：エリアマネジメント条例から当別町で考察される点についてであるが、どのような議論が行われているのか。現在、町内会としては、不在地主空き地に対して、美観・景観への悪影響が心配されるため、草刈や生活環境整備に取り組んでいるが、議会の中では検討しているのか。</p> <p>議 会：現在、町内会においての不在地主の空き地に対する草刈等の生活環境整備に取り組まれている事に対して、景観を守るためにも大変な努力をされていると思う。当別町の現状では、一部草刈等の代執行は出来ると条例制定しているが、エリア</p>			

マネジメント自体は、国土交通省が倶知安町のような特色あるリゾート地域の活性化が図られるような制度であると思うので、今後検討させていただきたい。

町内会：地域に中で住み続けられるためについてであるが、高齢者の方が安心して住み続けられる施策を検討しているのか。

議 会：終の棲家についての施策であるが、高齢者が快適に過ごせるために、町内には民間のグループホーム等が出来てきており、除雪や排雪の対応は、福祉ボランティアが行うなど、見守りの対策が取られている。買い物等の足としてはふれあいバスの活用なども行われている。今後、道の駅建設等においても、お年寄りと子供とが集うふれあう場所としても考えられていくと思う。

町内会：除雪についてであるが、一昨年業者が代わった時に苦情が多く何cm降雪があった時に除雪に入るのか、どんな基準になっているのか。

議 会：降雪による出動の基準はあるが、地域での仕様については、雪対策協議会と業者間で協議されていると思う。

町内会：エネルギーの地域での自給率を高めるための方策について教えてほしい。

議 会：9月定例会の補正予算で、太陽光発電活用地域活性化事業として、1250万円が可決され、町内下川町の町用地に施設を設置し、ふれあいバスの運行経費に当てるものである。また、新聞等の報道の通り、日通商事による町内蔵岱に大規模太陽光発電所の建設計画が予定されているものである。

町内会：もみじ団地の世帯減少についてであるが、団地の老朽化や居住者の高齢化により、もみじ団地の今後のあり方が課題となっている。

議 会：もみじ団地については、8棟32戸の内、14戸の入居で、平成34年度までに用途廃止する事となっており、一定の条件が整えば民間アパートを、借上公営住宅として進めていく考えである。将来的には解体する考えであるが、まだ受け皿が決まっていない状況である。

町内会：町営住宅の修理・改修についてであるが、東町町営住宅は入居率は73%で、かなりの老朽化が進んでおり、修理・改修の見通しはどうなっているのか。

議 会：修繕については、24年度38件の268万、25年度41件261万、26年度は25件324万円で修繕をしているが、根本的な古さや排水関係は解決出来ていない。東町団地については長寿命化計画においては、建て替えとはなっておらず、10年後に判断する事になっており、借地などの問題があるなど、今後の検討課題となっている。

町内会：町内会活動についてであるが、町内会は任意団体であるので、個別の案件には踏み込めないとの事を聞いていたが、最近は、負担金、寄付金等のあらゆる面で町内会に依頼が増加している。

議 会：町内会の実情については、組織率や会員が減っていく事によって、運営していく事が大変になっている事は理解している。それぞれの町内会の窮状については、それぞれの議員が認識させてもらったと思う。

町内会：情報公開についてであるが、パソコンを持っていない人は議会の情報は議会だより等で知る事になる。道の駅の基本構想等の新規事業については、出来るだけ情報を公開してほしい。

議 会：道の駅の関係については、12月1日に議員協議会にて説明を受ける事になっており、議員にもまだ内容は知らされていない。道の駅や図書館については、具体的に予算をどうするかなどの事は今後の議会審議の中で行う事になる。議会は、議会だよりの発行や議会報告会を行い、町長は町政懇談会を行うようになって、フェイスブックも行っているようだ。今後は、議会広報も住民の意見を受け止めるべく、広報と広聴の役目が必要ではないかとの議論もしている。

町内会：地酒での乾杯条例制定についてであるが、産業振興の面からも議員提案として提出できないだろうか。

議 会：基本的に、当別で作っているお酒が量的に足りるのかどうかも課題であると思うが、米の消費拡大と併せて、引き続きお互いで協力していくべきと考える。

町内会：当別町の人口増を図る対策についてであるが、役場職員の採用に当たっては、住所を移すことを条件としてどうか。

議 会：ピーク時から、4千人弱程減っており、2040年の未来総研の推計でも1万1千人まで減るとの予測が出ている。また30代～40代の女性が1/3になるとの予測もあり、町長以下、役場職員も危機感を持って施策を取り組まなければならないと思う。役場職員の居住については、9月定例会の一般質問で答弁した通り、なるべく町内に住所を移すように要請をしていくとの事である。

町内会：第6次総合計画については、作業的に何か進んでいるのか。

議 会：現在は、第5次総合計画を推進する前提で前向きに進んでいる段階であり、次の6次総合計画を想定しているものではない。決定した事は直ぐにホームページ上に掲載する事としております。

町内会：上当別の雪捨て場についてであるが、当初は緊急的な雪捨て場との事であったが、平成26年度も同様の計画になっているので、近隣の河川敷等に新たな雪捨て場の計画は出来ないだろうか。

議 会：雪捨て場の問題については、議会としても出来るだけ近場にして設置してほしいと、引き続き町側にも要望していきたいと思っている。

町内会：通学路の危険箇所として、若葉地区の道々81号線の踏み切りに歩道が無く、特に冬季間の事故が心配されるので、歩道の設置をお願いしたい。

議 会：道々の歩道の整備については、我々の地区の道議会議員に地元要望があった事について正確に伝えていく事としたい。